

仮説 1 心内対話（個から始まり、個で終わる授業）

授業の序盤に自分の考えを明らかにし、終盤で整理する活動を取り入れることで、子供自身が1時間の中での成長や変化を実感でき、さらに学びたいという意欲につながるであろう。

手だて 1

始めの心内対話

国語科…課題に対する自分の考えをもったり、前時の考えをもう一度自分の中で整理して、じっくりと考える。
算数科…方法や結果の見通しを共有してから、課題に対して一人で問題解決に取り組む。

手だて 2

終わりの心内対話

3つの視点による学習の振り返り

- ・対話を通して、分かったことや新たに身に付けた概念や技能は何か
- ・気付いたことや今、考えていることは何か
- ・自分の考えはどのように変わり、成長したのか、次にどうしたいか

手だて 3

六ツ南コミカの活用

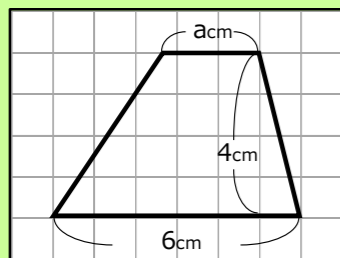
考えの変容、ペアやグループでの対話の内容を記録として残し、子供自身が学習を客観的に振り返るとともに、教師が個の学びを検証する。



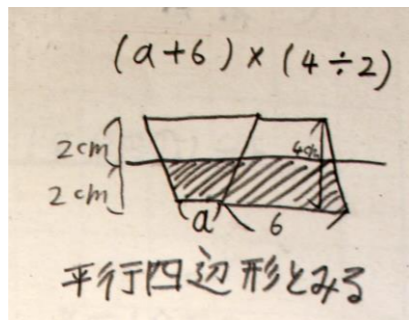
6年算数「文字と式」において、台形の面積を求める公式から子供の変容を見取る。

学習課題

「 $(a+6) \times 4 \div 2$ のいろいろなよみ方を見つけ説明しよう」



Aの始めの心内対話



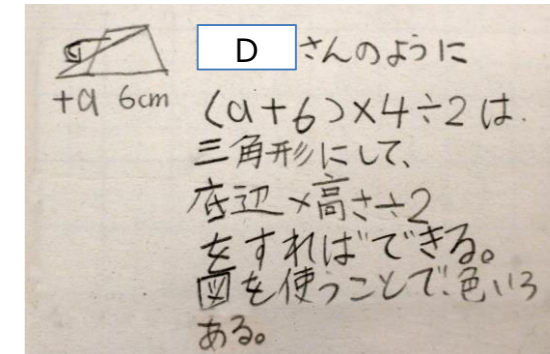
合同な台形を2つ並べて平行四辺形にすることで、台形の面積の公式のよみ方について考え、課題に対する見通しをもち、クラス対話で発言した。

クラス対話の授業記録

T: Aさんの言いたいこと分かった?
B: Aさんは、2つの台形を使って、大きな平行四辺形にして、それを半分にして出している。
C: $a+6$ は上底+下底を意味していて、 $4 \div 2$ は高さ $\div 2$ を意味している。
T: 今のCさんの説明で分かった?
(クラスのつぶやき): うーん。
T: では、三角形で考えた人はいますか?
D: $a+6$ をするから、上の a を下に持ってくる。そうすると、三角形の求め方で、 $a+6$ が底辺になる。



Aの終わりの心内対話



ペア対話や、その後のクラス対話によって、台形を変形させて三角形と見ることに気付き、新たな公式のよみ方を導き出すとともに、図を使うよさを実感することができた。

仮説 2

ペア対話・グループ対話・フリー対話・クラス対話 (かかわり合って高める授業)

対話の形態を意図的に設定し、教師支援によって子供の思考を深めながら対話をつなぐ授業を展開すれば、自らの考えを広げたり、深めたりする子供が育つであろう。

手だて 1

意図的なペアリング、グルーピング

考えが同じ者同士、考えが異なる者同士、学習に対する理解力別など、学習内容や学級の状態に応じてペアやグループを決定する。



手だて 2

対話を仕組む場の設定

- ①対話を仕組む場面、対話の視点を吟味し、共感、必要感、切実感、自分事、こだわり等の考えがもてるような場を本単元の本質に迫る場に設定する。
- ②聞き方指導
「共感的な反応・きっかけワード」の活用



手だて 3

対話をつなぐ教師の出

- ①意図的指名
 - ②問い返しの言葉
 - ③構造的な板書
 - ④座席表の活用
- ・流れを整理
 - ・関係性を整理
 - ・重要度を整理

4年国語科「走れ」フリー対話の様子

学習課題
なぜ、のぶよは「ラスト」という言葉が誇らしく聞こえたのだろう

A お母ちゃんとけんじの2人に応援されてうれしかったからだと思う。

共感的な反応とBのこだわり **B** なんで？応援されてうれしいのはわかるけど、誇らしいのはなんで？

A 最後までがんばって走ったから誇らしい

共感的な反応 **B** ああ、そういうことか。私は、応援されてうれしくて、ドベでもいやと思えたからだと思う。

C (うなずきながら) ふうん。

4年国語科「走れ」クラス対話の様子

学習課題
なぜ、のぶよは「ラスト」という言葉が誇らしく聞こえたのだろう

C2 「体にかみつけたいろんな思いが」のところで、のぶよの嫌な気持ちがほどけていったからだと思う。

確認の問い返し **T** 教科書の「いろんな思い」という言葉は、嫌な気持ちのことなのですか？

C2 他の気持ち・・・いい気持ちもなくなっちゃったのかな。

意図的指名

考えを広げる問い返し **T** いいところに目をつけましたね。「のぶよの体に絡みついたいろんな思い」と書いてありますが、どんな思いですか？

C3 楽しくお弁当を食べられなくて暗い気持ち

C4 朝のときの、ゆううつな気持ち

C5 Dさんの「ゆううつ」を参考に、走りたくない気持ち

対話の活性化